

成田山新勝寺と歌舞伎の市川一門との深い絆

成田山新勝寺は、有名な市川一門の歌舞伎役者を通して、何世紀にもわたって歌舞伎と深く関わってきた。

「成田屋」の屋号を世襲する初代市川團十郎(1660-1704)は、江戸時代（1603 年～1867 年）に大きな成功を収めた歌舞伎役者である。

彼は成田山新勝寺に子宝を授かるよう祈願したところ、すぐに息子を授かった。これを祝って團十郎はがこの寺で崇拜される仏、不動明王を歌舞伎演じたところ、大好評を得た。團十郎の演技により、新勝寺の不動明王が注目されるようになり、この寺の信者も増えたという。それ以来、市川の名を継ぐ團十郎の子孫も、新勝寺との繋がりを継承している。

現在の市川家継承者・市川海老蔵は、「成田市御案内人(Narita City Tour Guide)」でもあり、新勝寺の 1,080 年祭記念行事や結婚奉告など、重要な行事に参加している。